

第126号

ひこね 市議会だより

平成26年5月臨時会

(5月19日)

平成26年6月定例会

(6月9日～6月26日)

- 議会で決まったこと …… 2～9
- 個人質問 …… 10～18
- 議会報告会の案内 …… 19
- お知らせ …… 20

彦根の映画撮影スポット
天寧寺の五百羅漢像
「西鶴一代女」が撮影されました。

— 決定しました —

5月臨時会で副議長、監査委員を新たに選任しました。
 なお、議長の変更はありません。
 各委員会委員の構成は以下のとおりです。



監査委員
小川喜三郎議員



議長
谷口典隆議員



副議長
八木嘉之議員

◇委員会の構成◇

(平成26年5月19日現在)

企画総務消防常任委員会 (企画、財政、税務、総務、消防などを審査しています)	◎田中 滋康 ○安居 正倫	安藤 博 徳永ひで子	安澤 勝 野村 郁雄	矢吹 安子 西川 正義
福祉病院教育常任委員会 (福祉、病院、教育などを審査しています)	◎辻 真理子 ○山田多津子	渡辺 史郎 有馬 裕次	前川 春夫 谷口 典隆	杉本 君江 小川喜三郎
市民産業建設常任委員会 (民生、保険年金、産業、建設、上下水道などを審査しています)	◎北村 収 ○上杉 正敏	馬場 和子 宮田 茂雄	八木 嘉之 赤井 康彦	北川 元気 山内 善男
予算特別委員会	◎馬場 和子 ○赤井 康彦 徳永ひで子	杉本 君江 辻 真理子 安澤 勝	田中 滋康 山内 善男 矢吹 安子	宮田 茂雄 渡辺 史郎 小川喜三郎
議会改革特別委員会	◎安藤 博 ○宮田 茂雄	安居 正倫 北川 元気	有馬 裕次 徳永ひで子	安澤 勝 山内 善男
議会運営委員会	◎渡辺 史郎 ○安藤 博	安居 正倫 上杉 正敏	宮田 茂雄 山田多津子	有馬 裕次
議会報編集委員会	◎安澤 勝 ○上杉 正敏	安藤 博 山田多津子	安居 正倫 渡辺 史郎	辻 真理子
議会情報公開調整委員会	◎安居 正倫 ○赤井 康彦	辻 真理子 西川 正義	渡辺 史郎	
議会開放推進委員会	◎有馬 裕次 ○山田多津子	上杉 正敏 安澤 勝	馬場 和子 安居 正倫	矢吹 安子 野村 郁雄

※ ◎=委員長、○=副委員長

5月臨時会 6月定例会 の結果

5月臨時会では
予算1件、条例2件、その他議案1件

6月定例会では
予算1件、条例7件、その他議案4件、意見書案1件
の合計17件の案件を慎重に審議し、いずれも原案の
とおり可決、承認されました。請願は3件審査し、1
件は採択、2件は不採択としました。



彦根市医療費の助成に 関する条例の改正

福祉医療費の助成について改正

社会保障と税の一体改革に関連して、国の特例措置により1割負担とされていた70歳から74歳までの方の医療費の自己負担割合が、平成26年4月1日以後に70歳に到達した方から段階的に本来の2割の負担となることに伴い、県の福祉医療制度において、助成の対象が74歳までの方に拡大されるとともに、65歳から69歳までの方に対する助成の割合が2割から1割に引き下げられたことに合わせて、本市における福祉医療費の助成について改正を行うものです。

彦根市経済活性化 委員会条例の制定

彦根市経済活性化委員会を設置



小規模な経営を行う零細企業を含む市内の中小企業が本市の持続的な発展に果たす役割は重要であることから、中小企業の活性化方針等の検討および立案を行うことにより、本市経済の活性化を図り、世界に発信できる強い彦根の創造を実現するため、市長の附属機関として、彦根市経済活性化委員会を設置するため、新たに条例を制定しました。

彦根市消防団条例の改正

消防団員の退職報奨金の引き上げ



地域における防災活動の担い手である消防団員の処遇の改善を図るため、消防団員等公務災害補償等共済基金等が市町村に支払う消防団員退職報奨金支払額が増額されたため、本市の退職報奨金の支給額の最低支給額を20万円とした上で、一律5万円引き上げます。



消防北分署の消防車両を一部更新

屈折はしご付き消防自動車と
水槽付き消防ポンプ自動車に更新



消防署北分署のはしご付き消防ポンプ自動車が配備から20年経過、また水槽付き消防ポンプ自動車が配備から15年経過したことにより、消防活動等に支障をきたすおそれがあるため、それぞれ新型の消防自動車に更新しました。

子宮頸がん・乳がん検診の 無料クーポン配付対象者拡大

673万5千円

平成25年12月5日に閣議決定された「好循環実現のための経済対策」に呼応し、子宮頸がん検診・乳がん検診の無料クーポン券の配布対象者を拡大し、受診の勧奨などを行うために必要となる経費です。



マンモグラフィ



非構造部材（イメージ）

東日本大震災を教訓に、文部科学省から建築構造体でない天井材、照明器具等の非構造部材の落下防止対策を一層推進するよう通知がありました。その通知を受けて、平成27年度までの完了をめざして、小中学校施設の耐震化を図るものです。

小中学校非構造部材 耐震化事業

2327万6千円

全小学校の空調設備設置に 向けた実施設計

1425万6千円

生徒の健康面への配慮および快適な学習環境の確保のために、市内全小学校の普通教室、特別教室、相談室等のエアコン設置に向けて、空調方式の比較検討、エアコン本体および室外機の配置に係る実施設計を行います。



現状は扇風機のみ



私立幼稚園の活動風景（イメージ）

国において、保育所との「保護者負担の平準化」を図ることを目的として、幼稚園就園奨励費補助について、低所得世帯および多子世帯の保護者負担を軽減するため、対象者の拡大および補助単価の見直しが行われたことに伴い、追加が必要となる幼稚園就園奨励金についての経費です。

私立幼稚園就園奨励金 対象者拡大

855万5千円

5月臨時会の議決結果

【全会一致で可決・同意した議案】

議案番号	件 名	結果
議案第48号	平成26年度(2014年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第49号	平成26年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例案	可決
議案第50号	彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第51号	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
報告第10号	損害賠償の額の決定について	—
報告第11号	損害賠償の額の決定について	—
報告第12号	損害賠償の額の決定について	—

6月定例会の議決結果

【全会一致で可決・採択した議案等】

議案番号	件 名	結果
議案第53号	彦根市経済活性化委員会条例案	可決
議案第54号	彦根市職員の配偶者同行休業に関する条例案	可決
議案第55号	彦根市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第56号	彦根市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第57号	彦根市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第58号	彦根市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第59号	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案	可決
議案第60号	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決
議案第61号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
議案第62号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
議案第63号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
報告第13号	平成25年度(2013年度)彦根市土地開発公社の決算状況について	—
報告第14号	平成26年度(2014年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について	—
報告第15号	第27期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について	—
報告第16号	第18期株式会社夢京橋の事業計画について	—
報告第17号	第12期株式会社四番町スクエアの事業計画について	—
報告第18号	平成25年度(2013年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について	—
報告第19号	平成25年度(2013年度)彦根市立病院事業会計予算繰越しについて	—
報告第20号	平成25年度(2013年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて	—
請願第4号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書	採択
意見書案第1号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	可決

【賛否が分かれた議案等の結果】 (○：賛成 ●：反対 —：議長 欠：欠席)

議案番号	件 名	結果	辻 真理子	有 馬 裕次	小 川 喜 三 郎	北 川 元 氣	山 内 善 男	山 田 多 津 子	上 杉 正 敏	徳 永 ひ で 子	野 村 郁 雄	田 中 滋 康	谷 口 典 隆	宮 田 茂 雄	安 澤 勝	安 居 正 倫	赤 井 康 彦	安 藤 博	八 木 嘉 之	矢 吹 安 子	馬 場 和 子	西 川 正 義	渡 辺 史 郎	前 川 春 夫	北 村 收	杉 本 君 江		
議案第52号	平成26年度(2014年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める請願	不採択	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第5号	集团的自衛権の行使容認に反対する請願書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

意見書案を全会一致で可決しました!

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

我が国においてウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の責めに帰すべき事由によるものであるということは、「肝炎対策基本法」や「特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法」、「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」では確認されているところであり、国の法的責任は明確になっている。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる治療が、B型・C型肝炎の根治を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されているため、医療費助成の対象から外れている患者が相当数に上る。特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の場合も多く、生活に困難を来している。

また、現在は肝硬変を中心とする肝疾患も身体障害者福祉法上の障害認定（障害者手帳）の対象とされているものの、医学上の認定基準が極めて厳しいため、亡くなる直前でなければ認定されないといった実態が報告されるなど、現在の制度は肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされているところである。

他方、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の制定時（平成23年12月）には、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援のあり方について検討を進めること」との付帯決議がなされた。しかし、国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

よって、本議会は、下記の事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年（2014年）6月26日

彦根市議会議長

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様

企画総務消防常任委員会

自治会・PTA・地域の行事で火気器具等を使用する場合、届出が必要

企画総務消防常任委員会は、6月20日に委員会を開催し、8件の議案、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第54号、第56号、第57号、第58号、第59号、第61号、第62号、第63号
- ・請願第5号 集団的自衛権の行使容認に反対する請願書

【主な内容】

○議案第54号では、賛成の立場から、この条例新設は国の法律改正によるものであり、理解するが、「配偶者同行休業制度を利用した者が帰国し、復職したとき、職場内で制度の趣旨が理解されて、退職に追い込まれることのないような風土作りに取り組むことをお願いする。」という発言があった。

○議案第59号は福知山市花火大会の事故を教訓に、屋外催しに係る防火管理を定めたものである。「花火大会のような大規模な指定催し」以外の地域・団体が催され、不特定多数の人が集まるところで火気器具等を使用する場合には、3日前までに消防署へ届け出ることが必要となった。

○請願第5号の集団的自衛権の行使は、これまでの歴代自民党政権でさえ、憲法上、許容されないと一貫して主張してきた。

安倍内閣になって解釈改憲によりこれが許されるならば、法治国家の基盤が損なわれ、民主主義も成り立たなくなるとして、請願採択を求める意見があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第5号は不採択

彦根城博物館空調設備改修工事の工事請負契約について

福祉病院教育常任委員会は、6月23日に委員会を開催し、1件の議案、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第60号
- ・請願第4号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書

【主な内容】

○議案第60号「彦根城博物館空調設備改修工事」では、開館から27年が経過した彦根城博物館の空調設備が老朽化していることから、改修することとし、一般競争入札による工事請負契約を締結することについて議決を求められた。この件については、彦根市ホームページに掲載されている休館期間と契約期間に合致しない点についての質問があった。

○請願第4号では、ウイルス性肝炎のうち、B型肝炎及びC型肝炎については国の責めに帰すべき事由によるものであることは明確になっているが、自己負担のある医療費となるものであるため、これについて医療費助成制度の創設を求めるとともに、肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和することを求められた。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第4号は採択

市民産業建設常任委員会

経済活性化委員会を設置し、本市経済の活性化を図る

市民産業建設常任委員会は、6月24日に委員会を開催し、2件の議案、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第53号、第55号
- ・請願第3号 高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める請願

【主な内容】

○議案第53号に対しては、経済活性化委員会が議論する年度ごとのテーマの決め方についての質問では、彦根市の特徴である地場産業からはじめること、委員の選定の方法については、各分野にわたっての代表者や有識者が構成すること、また、委員会での議論の結果や成果をどのように報告するのかについては、広報等で市民の皆様にお知らせすること、成果をどのように次年度以降につなげていくのかについては、市の責任において検証していく等の答弁があった。

○請願第3号に対しては、紹介議員の説明に対して質疑のあと、請願の趣旨は理解するものの、国保や健康保険組合の仕組みに無理が生じているものであり、単年度で保険料を引き下げても国保財政の将来は見通せないで反対するという発言があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第3号は不採択

議会改革特別委員会中間報告

議会改革特別委員会は、4月17日、5月9日に委員会を開催し、以下の内容について協議、決定した。

■ 政務活動費の運用の見直しについて

議員の個人広報紙のうち政務活動費で支出できる範囲と、先進地行政視察に伴う手土産代について協議した。いずれも、運用および支出の目安などについて各委員からの意見をもとに、内容を見直し彦根市議会関係例規集の本委員会決定事項に加えることに決定した。

■ 彦根市議会基本条例の運用について

平成26年4月1日に施行された、彦根市議会基本条例を運用していくうえで、今後、議会改革特別委員会が協議していくべき事項について、整理し確認した。

彦根市議会の政務活動費はどんなものですか？

Q：政務活動費とは何ですか？

A：議会が、市政の監視機能を強化し課題克服に資することを目的に、会派又は議員が行う調査研究・研修・広報・広聴などの活動に対して交付されているものです。

Q：彦根市議会の政務活動費の交付額はいくらですか？

A：彦根市議会では、議員一人あたり年額24万円が、会派に対して交付されています。

Q：政務活動費の使途は、透明性が確保されているのですか？

A：彦根市議会では、収支報告書の提出の際には、領収証原本と証拠書類の添付を義務付けています。

Q：政務活動費を活用した、研修や視察の結果は報告されているのですか？

A：政務活動費を活用した研修や視察には、活動報告書の提出を義務付けています。

Q：収支報告書や活動報告書などは公開されているのですか？

A：議会ホームページで公開し、市民への説明責任を果たし政務活動費の適切な活用を図っています。



給食配送委託業務は
市内業者を優先すべき



山田 多津子議員

Q 公共事業は市内業者のくらしと営業を守るためにも地元を優先的に発注すべきで、市の活性化にもつながります。市内業者への仕事確保推進策の考えは。

A 公共事業の発注は競争性や経済性に留意の上、市内業者を優先し競争入札で選定している。市内業者の暮らしと営業を守ることは市の持続的な発展や強い彦根の創造につながる。今後も効果的な事業実施をしていく。

べきと考えるが見解は。
A 学校給食センター調理業務は配送業務および配膳業務と密接に連携が必要であり一括で業者選定を考えている。



▲給食配送車



給食センター調理
委託業務で一括発注をする

Q 市内業者から、「少しでも仕事確保をしたい」との切実な声が届いている。給食配送委託業務は市内業者優先にす

その他の質問

- ・介護する人もされる人も安心できる介護保険制度になるため
- ・問題だらけの子ども子育て支援新制度について



教職員の勤務状況改善について



宮田 茂雄議員

Q 厳しい勤務実態をどのように受け止めているか。

A 日々子供達のため努力している現状は承知しており、教職員の健康面からも超過勤務縮減は大きな課題である。

Q 教職員の健康管理対策は。

A 労働安全衛生法により衛生推進者や産業医を選任し、定期健康診断や面接指導を行ったり、自分で健康を守る意識を高め、風通しの良い働きやすい職場づくりに努める。

Q 超過勤務の縮減対策は。

A 事務の簡略化、会議の効率化、定時退勤日設定や超過勤務縮減への意識改革等により超過勤務縮減に取り組む。

Q 教職員増員への考えは。
A 定数は法律で定まっているが超過勤務縮減や子供達へのきめ細かな対応を図るため県へ加配教員の増員依頼や市費教員の増員を検討する。



▲学校



実態把握し健康管理や
超過勤務縮減に努める

その他の質問

- ・県立高校再編計画実施について
- ・犬上南部広域排水路と安食川改修について



原発から市民を守るため
水道の放射能検査を



山内 善男議員

Q 県は原発事故が福井で起こればびわ湖の水は10日間飲用水として使えないとした。過去、「大敷浄水場で測定機購入し放射能検査を」と質問したが対応を問う。

A 11月に測定機を購入し来年1月から測定開始し値は公表する。基準値を超えるときはあらゆる手段で周知する。

Q 福井地裁判決では事故の際250kmの範囲で避難が必要とされている。市は対応する避難計画があるか。

A 30km圏外で国、県の指針外であり策定していない。

Q 事故では水の使用が制限され、福井地裁のいう避難計



大敷浄水場で測定機を
購入し、データを公表

画もない。ヨウ素剤は備蓄中だが使用方法は定まっていない。この状況下で再稼働は反対と市長は表明すべきだ。

A 専門的知見や確かな情報がなく見解を示すことは困難。



▶ 関西電力大飯原発の半径250キロ圏

その他の質問

- ・市民の命を守るため原発再稼働反対を
- ・現図書館充実、拠点図書館・南部図書館建設の早期実現を
- ・市史現代の年内刊行



毎日どのように
英語と接しているのか



安澤 勝議員

Q 小学校の英語活用事例はまだ2カ月だが、毎日繰り返しビデオを視聴する事子ども達は英語表現を身につけている。何人もの児童が英語で挨拶をしてくれ、日々の積み重ねの大切さを実感している。県の自然体験事業であるフローティングスクールで、5年生は英語による学校紹介を練習し、一緒に乗船した他校児童の前で堂々と発表した。

Q 小中一貫教育の今後の計画と展開は。

A 英語教育の様子を見てみると一日も早く小中一貫校の宣言を行い、より緊密な指導を行なうことが大切だと考え



子ども達は楽しく
英語表現を身につけている

ている。中学校で100%英語による英語の授業を目指して取り組みを進めている。英語に特化した学校づくりを進めることで、鳥居本で学びたいという気持ちを育てたい。



▲英語で学校紹介をする子ども達

その他の質問

- ・企業誘致や宅地開発といった人口増加策
- ・県道彦根〜水谷線の拡幅や中山道の交通対策に係る道路網の整備について

Q 県立大「地(知)の拠点整備事業」の推進を



上杉 正敏議員

策の一環として、行政が支援できる部分は何かを今後の地域課題研究の結果を踏まえ検討する。

Q 滋賀県立大学における「地(知)の拠点事業」の内容は。

A 「地(知)の拠点整備事業」は「地域」の拠点である大学が、その教育・研究資源である「知識」を活かし、行政と連携し地域への社会貢献を特にすすめる大学について文部科学省が支援を行うもので、昨年度から実施している事業である。



▲滋賀県立大学

Q 八坂町の空き家利用を推進しては。

A 平成26年度の公募型地域課題研究においても引き続き八坂町の空き家についての実施計画が出ている。本市としても空き家が増加しつつあるという課題を注視し、定住施

A 地域課題研究 取り組みへの支援強化へ

- その他の質問
- ・ BCP（事業継続計画）の取り組みは
 - ・ 防災講習会未受講自治会への取り組みは
 - ・ 消防無線の改善策は

Q 女性が活躍できるビジョン構築を



徳永 ひで子議員

打開策を検討しながら、「男女共同参画ひこねかがやきプランII」を推進していく。

Q 社会進出における男女平等の度合いを示す指標「ジェンダーギャップ指数は、2013年では136ヶ国中、105位にとどまっている。女性が活躍できる地域の社会構築へ、10年、20年先のビジョンを示し政策総動員すべきと考えるが。

A 男性も女性も互いに能力を発揮し、意思決定の場が男女どちらかに偏らないよう、ともに支え合う男女共同参画社会を実現するため、彦根市の男女共同参画社会づくり推進本部長である副市長を中心に男女共同参画を推進するにあたり障壁と事象の分析や、障壁を取り除くにあたっての



▶男女共同参画ひこねかがやきプランII

A 「ひこねかがやきプランII」を推進する

- その他の質問
- ・ 女性の再就職や起業の環境整備について
 - ・ 土曜教育の充実についての取り組みは
 - ・ 保育サービスの更なる充実

「ひこねちゃん」付
ナンバープレートの交付を



矢吹 安子議員

A プレートにひこねちゃんのイラスト等の使用は基準に基づくものであれば可能と考えられている。

Q 「ご当地ナンバープレート」が、今秘かなブームとなっており、全国に広がっている。現在の原動機付自転車の登録台数と課税総額は。

A 平成26年4月の登録合計6114台、課税総額は655万5700円である。

Q 新規登録者や来年の井伊直弼生誕200年祭記念にひこねちゃん付プレートを交付すれば、人口増や消費拡大、動く広告塔になるのでは。

A 一定の話題づくりになるが、アピール力は限定的なものであり、現状では、ご当地プレートの交付は考えていない。ひこねちゃんの商標権は。

A 交付は考えていない



▲佐倉市ナンバープレート

その他の質問

・彦根総合地方卸売市場株式会社
の活性化に向けた市長の考えは

直弼学を広めては



赤井 康彦議員

Q 問にしていきたい。
Q 来年は直弼公生誕二百年であり記念事業を実施すべきであるが実施時期は。
A 来年度実施をするべく今後検討してまいります。

Q 郷土の偉人を尊敬して、まちを愛する心を育む事は大切であるが学校では直弼公をどのように教えているのか。

A 教科書には井伊直弼の記載は無いが明治維新を指導する上で開国を断行した偉人として学習している。

Q 彦根学という言葉が出てきたが、彦根学に直弼公は無くしてはならない存在と考えるが内容はどのようなものか。

A 彦根城や井伊直弼公を再評価し、勉学に励み偉大な政治家で文化人であった直弼公の全体像に迫れるよう来年度完成をめざし、子ども達が彦根で学ぶことを誇りに思う学

A 子ども達に彦根学という名称で学んでもらう



▶金亀公園に建つ井伊直弼公像

その他の質問

・国体主会場彦根の今後について
・スイングセンターの今後について
・直弼課や花の生涯学習課を設置しては

サービス付高齢者向け住宅はどのような施設か



辻 真理子議員

Q サービス付高齢者向け住宅の基本的知識について。

A 「高齢者住まい法」による建物で、バリアフリーなどの要件を満たすことと、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスの提供が必須である。

Q どのような人が入居できるのか。

A 60歳以上の方、要介護・要支援の認定を受けていれば入居できる。

Q 月額家賃ほどの程度か。

A 市内にある物件の料金は月額4万4千円から14万円となっている。

Q 終の棲家として看取りは

A 60歳以上の人や介護認定者が入居できる施設

A 可能か。
 一生涯住み続けることが可能かどうかは契約によるものである。本市としては引き続き在宅医療・在宅介護の充実に努めたい。



▲サービス付高齢者向け住宅の一例

その他の質問

- ・「新修彦根市史」第4巻通史編現代は平成26年中に発行するのか
- ・お父さんの育児休業は進んでいるか

国体主会場・総合運動場の周辺整備を早急に



田中 滋康議員

Q 第79回国体の主会場が彦根総合運動場に決定した。地元市としての考えや構想は。

A スポーツの推進を始め、地域経済の活性化につながる。施設整備は周辺の歴史性、文化性との調和への配慮が必要である。県は総合政策部に国体準備室を設置し、基本構想・計画が策定される。本市は県との総合調整に向けて市長部局の企画振興部企画課を窓口7月に職員を配置する。

Q 主会場としては、駐車場

用地を含め、用地が手狭であるが、周辺用地買収の計画は。

A 現時点では、必要な用地の範囲など詳細を示せないが、

A 県の国体基本構想計画決定次第、鋭意進める

本市としても協力は惜しまない。
Q アクセス道路の改善策は。
A R306の原・松原線は主会場へのアクセス道路であり、31年完成予定を県に厳守願う。



▲彦根総合運動場

その他の質問

- ・国民健康保険団体連合会がレセプト審査手数料を二重取り報道の実状について
- ・介護保険制度改革について

Q 安心して徘徊できる地域であるための方策は



馬場 和子議員

Q 高齢者の捜索願の件数は、彦根警察署では、昨年中に16件あり、全て発見保護。
 A 認知症サポーター養成講座受講者の拡大が必要では。
 Q 現在、受講者数は8591人。講座の周知や啓発活動により、今年度末までに目標一万人のサポーターを養成。
 Q 認知症高齢者の捜索に、各関係機関の連携とメールによる探索システムの活用を。
 A 早期発見・早期保護のため、家族等の申し出により本人の特徴等の事前登録と、事業所等からメール配信により広く情報提供を求めている。さらなる啓発を行い、システムへの登録者の増加を図る。
 Q 地域の繋がりを深くするために必要なことは。
 A 認知症への理解と、日頃からの「お互いさま」の関係づくり、地域づくりが大事。



▲「認知症あったかフォーラム」での啓発寸劇

Q 国体主会場が彦根市に決定。今後の対応は



北村 收議員

Q 国民体育大会2巡目の開催が滋賀県に決まり、大会主会場が彦根市松原町県営陸上競技場に決定した。今後、日本陸連1級競技場に大改造され、それに伴う各施設や駐車場の用地確保が最大の課題であると思うが。また、総事業費内訳は。
 A 業費については、総額182億円で内訳は、135億が施設整備で、地盤対策や園内施設の整備等その他の事業費が計47億計上。



▲2024国体主会場に決定した県営陸上競技場

A 日頃からの「お互いさま」の地域づくりで

- その他の質問
- ・十年後の国民体育大会に向けての懸案事項の解決は
 - ・平田川に架かる橋
 - ・観光ボランティアアガイドの常駐所を

A 地元の理解を得るよう県市ともに対応する

- その他の質問
- ・夏の大イベント、彦根大花火大会に於ける警備体制の見直しについて
 - ・湖上での安全指導ならびに啓発は



市長就任後、達成した公約と未達成の公約は



安藤 博議員

Q 大久保市長就任1年を経過して、達成した公約と未達成の公約は何か。

A 達成した公約は、巡回市長室の新設と中学校へのエアコン整備に着手、平成28年度からの給食センターの供用開始。また、女性副市長として山根裕子氏が就任。未達成の公約は、中央図書館の新設や市立病院の医師確保等であり、職員と一丸となり公約実現に取り組んでいく。

A すでに、男女共同参画社会づくり推進本部で部長の任務を担っているが、今後、女性の視点に着眼した部局横断的なプログラムを導入し様々な施策の推進をしていく。



▲市長公約ピラ



巡回市長室は達成、中央図書館新設は未達成

Q 公約どおりの民間出身女性副市長が就任したが、女性視点での部局横断的な組織を設置しリーダーシップを発揮して欲しいが見解を求める。

その他の質問

- ・彦根市役所庁舎耐震工事に関しての検討委員会の内容と答申時期はいつ頃か
- ・彦根市内の居所不明児童生徒の実態は



小学校で会話ができる英語教育の促進を



安居 正倫議員

Q 現在の英語教育は、大学入試のための英語教育で実用には適していない。グローバル化する社会の中で、世界の人人々と自由に会話ができる英語教育の必要性から、小学校における英語教育が始まったと思うが今後の教育方針を問う。

A これからのグローバル社会を生きる子どもたちにとって、英語は海外はもとより国内においても様々な国の人々と意見を交流するため、当然身につけておかなければならないツールであると考えている。国においても2020年のオリンピックを見据え、中学校で100%英語による授業を

進めることを目指している。こうした背景を踏まえ、教育委員会としても小学生に対する英語教育については、各校との連携を密にし、積極的に対応して行く。



▲小学校における英語の授業風景



英会話教育の重要性に鑑み最大限の努力を

その他の質問

- ・市長が求める職員の資質について
- ・はり・きゅう・マッサージ施術費助成券制度の再開について

Q 不適切だった広報ひこねについて



北川 元気議員

が二度と起きるようなことがないように、本件を教訓として職員の資質向上に努めていく。

Q 不適切があった広報ひこね6月1日号についての見解は。

A 市民の皆さんにご心配、ご迷惑をかけたこと大変申し訳なく思う。ここに改めておわび申し上げる。

Q 不適切があった表紙の回収はどのように行うのか。

A 6月15日号でおわびとお願いの記事を掲載、併せて差替え用表紙を送付し、不適切があった表紙を返送していただくための封筒を同封した。市内の公共機関に配布したのも回収・差替えを行った。

Q 今後の市の対応は。

A 広報の表紙デザインを変更する。今後このようなこと
今後二度とないよう職員の資質向上に努める



▶ 広報ひこね表紙(6月1日号差替え後)

その他の質問

- ・第79回国体に期待する成果は
- ・幼稚園や保育所での事故や、保険に対する保護者への説明は

Q 世界遺産登録方針は 品格ある撤退をすべき



有馬 裕次議員

Q 世界遺産と国民体育大会の実施を考えると、長期の還元度から比べても国体の成功を最大目標にすべきでは。

A 両輪ととらえ市民理解向上に努める。

Q 彦根城世界遺産登録は行政が重視する程市民は望んでいない。暫定リストに選ばれ22年間次々と後続の候補に抜かれ、昨年は富士山、今年も富岡製糸場の登録が決定。奈良飛鳥、山口県の明治日本産業遺産、長崎県教会群等も控えており、当面彦根城は候補だが口にさえしない。時間・労力・金銭のムダ使いである。品格ある撤退をすべきでは。

A 登録に向けた樹木伐採等彦根城の美しさを際立たせる保存整備により、彦根の評価が高まる。政府の推薦により暫定リストに登録されていることは彦根市の品格を高める。



▲世界遺産登録品格ある撤退へ

A 今後も登録に向けて 継続して進めていきたい

その他の質問

- ・元気な高齢者事業を充実すべきでは
- ・窓口業務ワンストップ化が進まない理由は
- ・市営開出今団地ゾーンの活用は

Q ビバシティより
春日大橋北詰の渋滞解消を



野村 郁雄議員

何回かお願いもして、一日も早い渋滞解消を願っているが、いつ実施予定か。
A 平成27年3月までに車道拡幅工事を行い、一日も早い渋滞解消に努力していく。

Q 彦根口・川瀬馬場線のビバシティより春日大橋北詰までの交通渋滞解消につき、この交差点の朝夕の通行車両数は。
A 平日朝夕2時間で約千台の車両が通行している。

Q ビバシティより春日大橋北詰までの一日も早い渋滞解消を願うが、その対策についてはどうか。
A 現在、交通渋滞の解消対策につき彦根警察署・公安委員会と協議中である。できれば1.5m拡幅した複合車線とし、右折車が停車していても直進と左折ができる様に改良していく予定である。



▲ビバシティより春日大橋までの交通渋滞

A 平成27年3月までに
車道拡幅し解消図る

Q この渋滞解消については

その他の質問

・河瀬公園の一日も早い実現を願うが、市長の意向は。

彦根市への行政視察受け入れ状況について

彦根市議会では、全国各地の市議会から行政視察を受け入れています。前号以降の状況についてお知らせします。

日時	議会名	視察項目
4月17日	徳島県吉野川市議会	議会改革・開放の取組について
4月23日	北海道稚内市議会	湖東定住自立圏構想について
5月13日	長崎県長与町議会	中心市街地活性化について（四番町スクエア）
5月22日	大分県大分市議会	新観光振興事業（ひこにゃん）について
5月23日	福井県大野市議会	代表質問・個人質問、子ども議会、議会図書室について

彦根市議会のインターネット中継を始めます！

彦根市議会では、市民のみなさんへの開かれた議会を目指し、9月定例会から本会議のインターネット中継（ライブ中継および録画配信）を始める予定です。

「彦根市ホームページ」 → 「市議会」 からご覧いただける予定です。

分かります、開かれた議会をめざして

平成26年度 第2回議会報告会

9月定例会の内容を中心に、報告します。

ぜひお近くの会場までお越しください!!

日	程	会 場
11月20日 (木)	午後7時から	高宮地域文化センター 1階 ホール (高宮町2311)
11月21日 (金)	午後7時から	東地区公民館 2階 大会議室 (大東町1-26)
11月21日 (金)	午後7時から	福祉センター 3階 31会議室 (平田町670)
11月22日 (土)	午後7時から	鳥居本地区公民館 1階 大会議室 (鳥居本町1491-6)

※受付は、午後6時30分から開始します。

4月22日(火)に河瀬地区公民館で開催



4月23日(水)に稲枝地区公民館で開催



約100名のご参加、
ありがとうございました!
結果報告 第1回議会報告会

4月25日(金)に南地区公民館で開催



4月26日(土)に市民会館で開催



市民に開かれた議会をめざし、市内4会場で市議会議員による議会報告会を行い、約100名ご参加いただきました。平成26年3月定例会で議決された新年度予算の概要や議論の経過を中心に報告をし、議員が参加者からの質問に答える形で、各会場で活発な意見のやりとりがありました。

議会報告会でいただいたご意見を受けて、議会は次のように変わりました。

議会を傍聴したときに、議長さんが番号だけで議員さんと呼んでいるのを聞いて、ちょっと普通感覚とずれているな、と感じました。

6月定例会より、
議席番号による呼名 → 議員氏名による呼名
に変更しました。

議員表彰

全国市議会議長会会長から、
次の3人の議員が表彰されました。



矢吹議員15年表彰 杉本議員25年表彰 田中議員15年表彰

編集後記

今号より、「賛否が分かれた議案等の結果」について、6ページのとおりに、全議員の表決結果を掲載いたしております。議案や請願等を審議する上で、賛否が分かれることはよくあり、賛成・反対討論にて考え方を主張しています。地方議会は、追従議会とも揶揄されることもありませんが、賛成・反対の立場で丁々発止の議論を尽くしております。是非、議会傍聴にお越しいただき、議論の一端をご覧いただければと思います。

議会報編集委員会



本会議・委員会の日程（予定）

月日	内 容	時 刻
9月 8日 (月)	開 会	9:00
9月16日 (火)	代表質問 一般質問	9:00
9月17日 (水)		
9月18日 (木)		
9月22日 (月)	福祉病院教育常任委員会	9:30
9月24日 (水)	市民産業建設常任委員会	
9月25日 (木)	企画総務消防常任委員会	
9月29日 (月)	本 会 議	9:00
10月 8日 (水)	決 算 特 別 委 員 会	9:30
10月 9日 (木)		
10月10日 (金)		
10月16日 (木)	閉 会	9:00